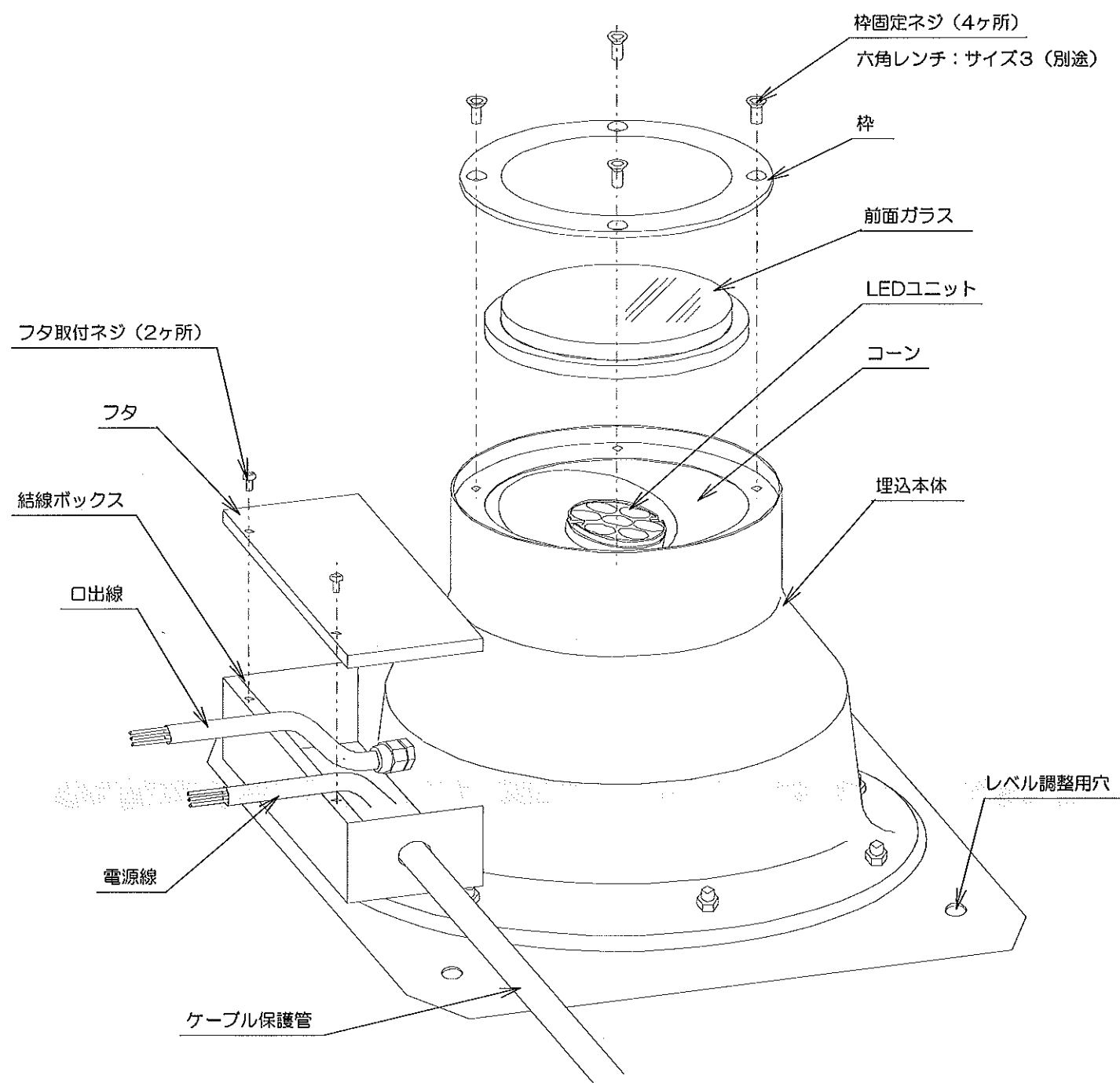
[型番] ERL8017S・ERL8018S・ERL8019S・ERL8020S・ERL8021S・ERL8022S・ERL8023S
ERL8024S・ERL8025S・ERL8026S・ERL8027S・ERL8028S・ERL8029S・ERL8030S
ERL8031S・ERL8032S

◆各部の名称

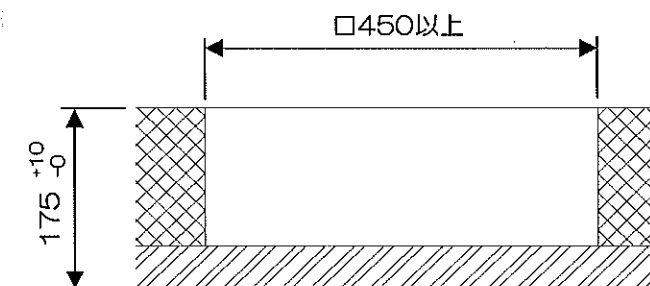
この図は一部省略抽象した共通部品図です

■清掃方法について ・注意　必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

●中性洗剤をうすめ布に付け、よく絞ってから器具を拭き取り、その後乾いた布で仕上げてください。
●シンナーやベンジンなどの揮発性のもの、または酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

● 電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄りの営業所へお問い合わせください。

ERL8017S-T

◆取付寸法

1.設置場所は必ず排水処理を行ってください。
2.設置場所を決めて図のような埋込穴を施工してください。

◆仕様

区分	型番	ランプ色	配光	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	入力容量	消費電力
R5	ERL8017S	ナチュラルホワイトタイプ	狭角	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	0.12A	11.3VA	11W
	ERL8018S	電球色タイプ				200V	0.08A	14.2VA	
	ERL8019S	ナチュラルホワイトタイプ	広角			242V	0.08A	17.7VA	
	ERL8020S	電球色タイプ							
R7	ERL8021S	ナチュラルホワイトタイプ	狭角			100V	0.15A	14.3VA	14W
	ERL8022S	電球色タイプ				200V	0.09A	17.0VA	
	ERL8023S	ナチュラルホワイトタイプ	広角			242V	0.09A	20.6VA	
	ERL8024S	電球色タイプ							
R9	ERL8025S	ナチュラルホワイトタイプ	狭角			100V	0.20A	19.6VA	18W
	ERL8026S	電球色タイプ				200V	0.16A	33.9VA	
	ERL8027S	ナチュラルホワイトタイプ	広角			242V	0.16A	37.5VA	
	ERL8028S	電球色タイプ							
R12	ERL8029S	ナチュラルホワイトタイプ	狭角			100V	0.25A	24.8VA	23W
	ERL8030S	電球色タイプ				200V	0.17A	36.7VA	
	ERL8031S	ナチュラルホワイトタイプ	広角			242V	0.17A	39.9VA	
	ERL8032S	電球色タイプ							

⚠直接日光のあたる場所に取り付けの場合、昼間は点灯させないでください。
器具短寿命・火災の原因になります。
⚠3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検し、異常があれば交換してください。

◆適合LEDモジュール

区分	型番	ランプ色	配光
R5	RM0540N1	ナチュラルホワイトタイプ	狭角
	RM0530N1	電球色タイプ	
	RM0540W1	ナチュラルホワイトタイプ	広角
	RM0530W1	電球色タイプ	
R7	RM0740N1	ナチュラルホワイトタイプ	狭角
	RM0730N1	電球色タイプ	
	RM0740W1	ナチュラルホワイトタイプ	広角
	RM0730W1	電球色タイプ	

区分	型番	ランプ色	配光
R9	RM0940N1	ナチュラルホワイトタイプ	狭角
	RM0930N1	電球色タイプ	
	RM0940W1	ナチュラルホワイトタイプ	広角
	RM0930W1	電球色タイプ	
R12	RM1240N1	ナチュラルホワイトタイプ	狭角
	RM1230N1	電球色タイプ	
	RM1240W1	ナチュラルホワイトタイプ	広角
	RM1230W1	電球色タイプ	

⚠LEDモジュール交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
・R9モジュールはR12モジュールと共通レンズのため、レンズ中央の3個は使用していません。

◆取付方法

1.安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

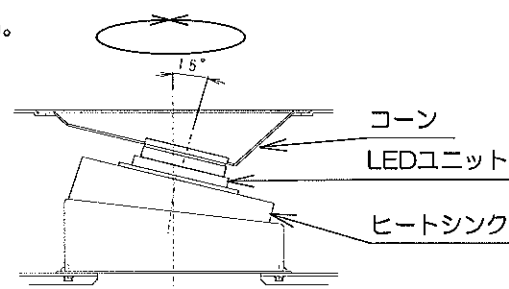
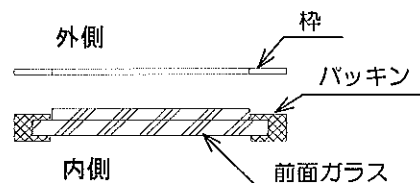
⚠感電の原因となります。

2.埋込本体を設置場所に入れてください。
施工の際、器具の結線ボックスはケーブル保護管付近に位置するように器具を設置してください。
レベル調整用穴を使用してレベル調整を行ってください。

3.結線ボックスのフタ取付ネジ（2ヶ所）をゆるめてフタを取外してください。
結線ボックスの穴にケーブル保護管を挿入し、口出線と電源線を閉端接続子にて確実に結線を行ってください。
アース線を使用してD種（第3種）接地工事を行ってください。
・別紙同梱しています「スコッチキャストTM　低圧電線防湿用パックレジンWS-O取扱説明書」を充分参考した上で先に接続した結線部を付属の低圧電線防湿用パックレジン（住友スリーエム社製）で確実に防水処理を施してください。
低圧電線防湿用パックレジン１袋に結線部3ヶ（電源線、アース線）を挿入してください。
・低圧電線防湿用パックレジンは約2時間程度で硬化します。
硬化時にレジンが高温になります。やけど等しないようご注意ください。
・電源線等を結線ボックス内に納め、電源線等を張力止めでしっかりと固定し、フタを取付けてください。

⚠不備があると、防水不良による火災・感電・不点の原因となります。
⚠接続が不完全な場合、火災・感電・浸水の原因となります。

4.枠と前面ガラスを枠固定ネジ（4ヶ所）をゆるめて取外してください。
工具などを使用して無理にこじ開けないでください。
パッキンの変形・破損により浸水の原因となります。
ヒートシンクを回転させ、照射角度を調節してください。
照射方向に合わせて、コーンを回転させてください。

5.前面ガラスには方向性がありますの　右図を参照し施工してください。

6.前面ガラス、枠の順番で埋込本体にセットし、枠固定ネジで均一になるようにしっかりと締め付けてください。

⚠締め付けが不完全な場合、漏電・器具故障の原因となります。

◆LEDモジュール交換方法

1.安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

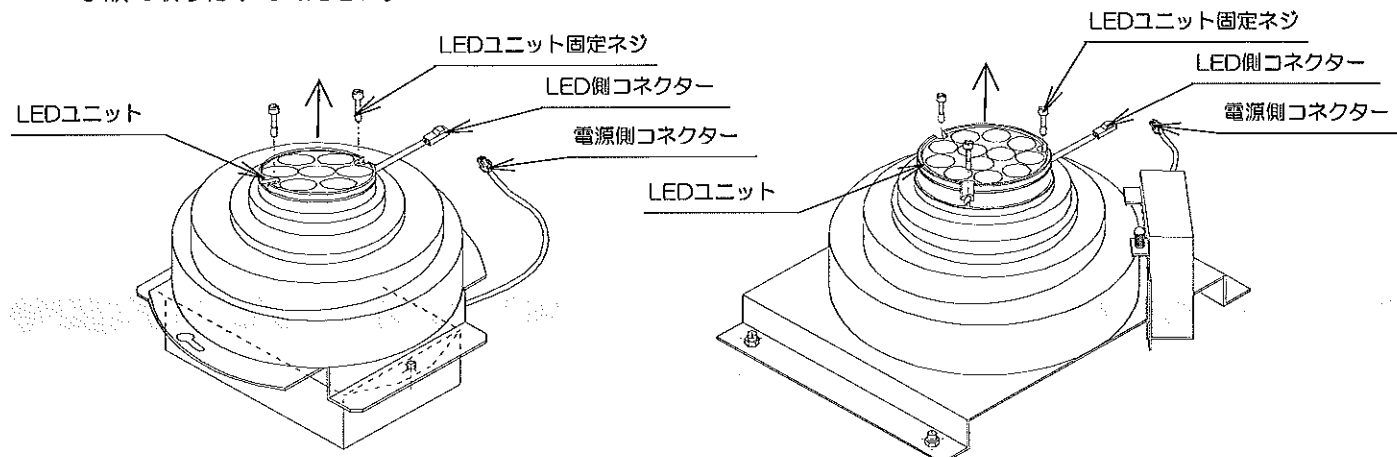
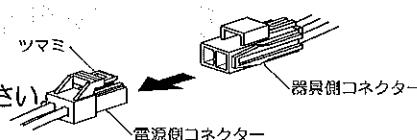
⚠感電の原因となります。
⚠点灯中や消灯直後（消灯後20分まで）は高温になりますので、LEDモジュール交換は しないでください。
やけどの原因となります。

2.枠・前面ガラスを枠固定ネジ（4ヶ所）をゆるめて取外してください。
コーンを取外してください。

3.ツマミを押しながらLED側コネクターを電源側コネクターから引き抜いてください。

ツマミ
器具側コネクター
電源側コネクター

4.LEDユニット固定ネジを外して、LEDユニットを取外してください。

5.新しいLEDモジュールを取り外し、取付方法　5，6を参照して逆の手順で取り付けてください。

R5/7　LEDモジュールの場合　　R9/12　LEDモジュールの場合

◆電源装置交換方法

1.安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

⚠感電の原因となります。
⚠点灯中や消灯直後（消灯後20分まで）は高温になりますので、LEDモジュール交換は しないでください。
やけどの原因となります。

2.枠・前面ガラスを枠固定ネジ（4ヶ所）をゆるめて取外してください。
コーンを取外してください。

3.ツマミを押しながらLED側コネクターを電源側コネクターから引き抜いてください。

ツマミ
器具側コネクター
電源側コネクター

4.電源装置固定ネジを外して、電源装置を取外してください。
下図を参照して施工してください。

5.新しい電源装置を取り外し、取付方法　5，6を参照して逆の手順で取り付けてください。

R5/7　LEDモジュールの場合

1）LEDユニット固定ネジ(2ヶ所)をゆるめてください。
2）左へ回転させて、上へ持ち上げてください。

R9/12　LEDモジュールの場合

1）電源装置固定袋ナットをゆるめて外してください。
2）上へ持ち上げてください。

◆安全に関するご注意

●照明器具には寿命があります。
●設置して８～１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※使用条件は　周囲温度３０℃　１日１０時間点灯、年間３，０００時間点灯
（ＪＩＳ　Ｃ８１０５－１　解説による）
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●１年に１回は、「安全チェックシート」により自主点検をお受けください。（注）
●３年に１回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

（注）　「安全チェックシート」は、社団法人日本照明器具工業会ホームページをご参照ください
http:www. jlassn. or. jp／siriyo／index. htm

スコッチキャスト™　低圧電線防湿用パックレジン　WS-０

⚠ 安全上の注意

・吸入、皮膚と接触、飲み込むと有害です。
・眼、皮膚を刺激します。
・皮膚と接触すると感作（アレルギー反応）を起こす恐れがあります。
・必ず防湿用のガードバック（紙製）に記載されている注意事項を参照の上、正しくご使用ください。
・硬化時にレジンが高温になります。やけど等しないようご注意ください。
・適切な保護衣、手袋、眼及び顔の保護具を着用してください。
・蒸気を吸入しないでください。
・汚染した衣服は再使用する前に洗濯してください。
・エポキシ樹脂を含有しています。住友スリーエム株式会社製品データシート（ＭＳＤＳ)を参照してください。
・不快感を覚えたときは、医師の診断を受けてください。（可能であればラベルを見せてください。）
・換気の良好な区域でのみ使用してください。

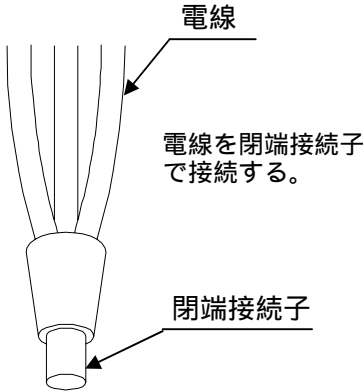
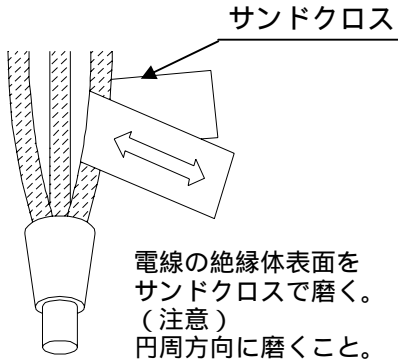
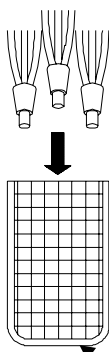
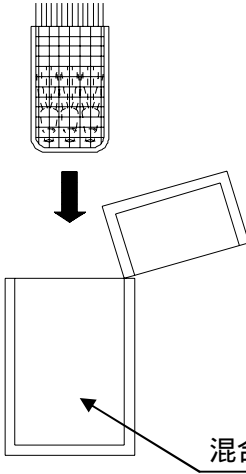
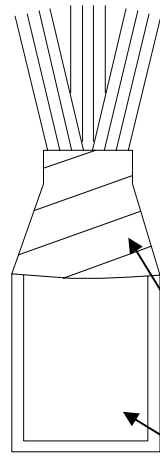
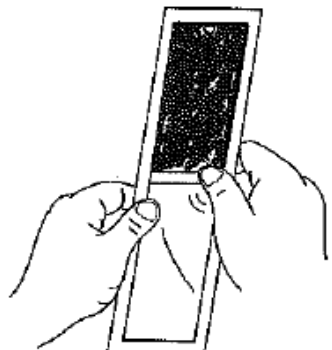
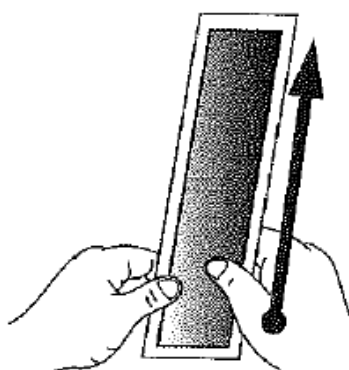
⚠ 応急処置

・眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の診断を受けてください。
・皮膚に触れた場合は、直ちに多量の水と石鹸で洗浄してください。
・呼吸が困難な場合は医師の手当てを受けてください。

⚠ 保管上の注意

・直射日光をさけ、常温で保管してください。
・車の中など高温（５０℃～７０℃）になる場所に1週間以上置かないでください。

⚠ 使用上の注意

・使用するまで防湿保護袋（紙製）を破らないでください。
・コネクターを取付ける際には電源スイッチが切れていることを確認してください。
・電源の接続は適切な接続子と工具を使用してください。
・水中や冠水する場所での使用は避けてください。

■清掃方法について

・注意　必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

●中性洗剤をうすめ布に付け、よく絞ってから器具を拭き取り、その後乾いた布で仕上げてください。
●シンナーやベンジンなどの揮発性のもの、または酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

● 電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄りの営業所へお問い合わせください。

ERL8017S-T

◆作業手順

1.電線の接続	2.絶縁体の研磨	3.スペーサーネットへの挿入
  電線を閉端接続子で接続する。	 電線の絶縁体表面をサンドクロスで磨く。 （注意） 円周方向に磨くこと。	 接続部をスペーサーネットの奥まで確実に押し入れる。 （注意） 使用される器具によりスペーサーネットへ挿入する接続部及び大きさが異なります。必ず器具の取扱説明書を参照の上、作業を行ってください。 スペーサーネット

4.レジンを混合し接続部をレジンに封入	5.口元のテープ巻き
  混合したレジンを下側に寄せてユニパックを切断し、接続部をレジンの奥まで押し入れる。 レジンの混合は下記の「レジン混合、使用上の注意事項」を参照してください。	 レジン袋の上部を自己融着テープ及びビニルテープでしっかりと巻き固定する。 （注意） スペーサーネットがレジンから露出しないように、袋を絞るように自己融着テープを巻いた後、ビニルテープを巻いてください。 不備があると防水絶縁性劣化による火災・感電・不点の原因となります。

レジン混合、使用上の注意事項

1.保湿保護袋の上端を手で破り、レジン容器を取り出す。（はさみ、ナイフ等で切らないでください。）
2.レジン容器の中仕切り部を指先でもむ。
3.レジン容器を端から巻き上げ、ふくらみ部を指で強く押し、中仕切り部を貫通させる。更に、中仕切り部全体を広げて貫通させる。
4.指でレジン容器を往復20回にわたり前後交互にしごき、樹脂を混合する。
5.電線接続部を封入したら、レジンが硬化（硬化時間：約2時間程）するまでうごかさない。
（硬化時にレジンが高温になります。やけど等しないようご注意ください。）

〈レジン混合方法〉

レジン容器の中仕切り部を指先でもむ。（中仕切り部がはがれやすくなるようにする。）

レジン容器を端から巻き上げ、ふくらみ部を指先で強く押し、中仕切り部を貫通させる。更に、中仕切り部全体を貫通させる。

指でレジン容器を往復20回にわたり前後交互にしごき、樹脂を混合する。